

謹賀新年

皆さまとつくる まちづくり 2015 未



毛呂山町長 井上 健次

思いやりあふれるやさしい町へ
皆さまの声が実現する町をめざして

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

東日本大震災から、まもなく4年を迎えようとしています。昨年を振り返りますと、数々の自然災害に驚かされた1年だったと言えます。

2月に関東地方を襲った大雪からはじまり、8月の豪雨では広島市において土砂災害が発生、そして9月には御嶽山おんたけさんが突然噴火し、多くの尊い命が犠牲となってしまいました。

また、11月22日に発生した長野県

白馬村を中心とした大地震では、幸いにも命を落とされた人はいませんでしたが、多くの家屋が倒壊するなど、甚大な被害となりました。

自然の恐ろしさを痛感するとともに町民の生命財産を守るための災害対策をしっかりと進めることを、改めて決意しているところです。

国政では、平成27年10月の消費税増税の据え置きを決断した安倍首相が、アベノミクスに対する国民からの信託を得るために、衆議院を解散、12月14日に衆議院議員総選挙が実施

され、その結果、自・公連立政権とアベノミクスの継続が認められました。今後は、更なる財政支援策を推し進め、国民生活に良い影響を及ぼすような国の舵取りを進めてもらいたいと思います。

また、国として、東日本大震災で被災された方がたに対する支援を継続していただくとともに、毛呂山町においても、被災地への支援を継続してまいりたいと考えておりますので、町民皆さまのご理解を賜りたいと存じます。

さて、私が町長に就任し、早いもので1期目の4年が終わろうとしております。町長選挙の際に皆さまにお示しいたしました政策・公約は、約9割の達成となっております。これもひとえに議会議員各位のご指導を賜りながら、職員と一丸となって行政運営に努めてきた成果であると考えます。そして、なによりも皆さまの「自助・共助・公助」へのご理解とご協力があるから進めてこられたものでございます。皆さまには改めて感謝を申し上げます。

■平成26年の

毛呂山町を振り返って

1月 「成人のつどい」が、ウイズもろやまの耐震補強工事の関係から初めて中央公民館と東公民館の2会場で開催され、両会場とも落ち着きのある厳粛なる成人式が挙行されました。

2月 関東地方は未曾有の大雪にみまわれ、本町でも大きな被害が発生しました。特に施設栽培農家では、壊滅的被害となり、毛呂山町から近隣市町の首長に声をかけさせていただき、埼玉県知事に対して「国・県による連携した再建支援」の要望活動を行いました。これを受けて国・県・市町村の支援体制が整いました。

3月 平成25年度事業として旭台保育園の園庭拡幅を計画し、園舎に隣

接する地権者の暖かいご理解と町議会のご協力をいただきまして、3月下旬に工事が完了いたしました。

4月 国の進める施策として、電気自動車用急速充電器を、役場庁舎北側に設置いたしました。また、この工事に伴いまして、庁舎脇の障害者専用駐車場の整備も行いました。

5月 毛呂山小学校の安全対策工事が完了しました。これは平成26年2月25日に、毛呂山小学校1年1組の天井モルタルが一部剥離して落下したことへの緊急対策工事です。

6月 西入間広域消防組合西入間支部消防団による消防操法大会が実施され、毛呂山消防団第1分団が優勝しました。また他の毛呂山消防団も上位入賞を果たし、毛呂山町の消防行政の高さが際立ちました。

7月 新しい観光事業の「花蓮広場」において「光明まつり」が開催され、多くの皆さまに幻想的な花蓮を楽しんでいただきました。

8月 地元毛呂山町出身の瀬戸大也選手が、オーストラリアのゴールドコーストで開催されたパンパシフィック水泳選手権大会2014において、200メートルバタフライで、見事金メダルを獲得しました。

9月 一昨年から行われていた川角中学校の大規模改造工事が完了しました。今後は、毛呂山中学校の改造工事を進めて参ります。

10月 ウイズもろやまの耐震補強工事が、トイレ改修工事と外装改修工事とともに完了し、10月1日より全ての施設の利用が再開されました。

また、もろ丸くんのテーマソング「ぼくの愛するゆずの里」が決定し、併せて職員が考案したダンスが披露されました。

11月 毛呂山中学校と川角中学校の両校に、エアコンが設置されました。これにより、年間を通して中学校における教室の環境設備を整えることができました。

12月 第3回毛呂山そばまつりが5団体の参加で、大類グラウンドにおいて開催されました。

■ 今年の主な事業について

道路整備事業 町施行の都市計画道路「野久保線事業」の工事も、3

月までに全てが終了いたします。町では今後、町施行の都市計画道路においてははしばらく着手せず、地域を結ぶ生活道路の改良工事を優先してまいります。

川角駅周辺整備事業 昨年中にグラ

ンドデザインが順調に進み、地域の皆さまから意見をいただく段階となつてまいりました。また東武鉄道や近隣の大学・高校にも協力をいただきながら、丁寧に将来の町づくり事業を進めて参ります。

高齢者支援事業 福祉施策では、東

日本大震災が発生したことを受け、教育施設などの環境整備が進められたこの4年間でした。教育環境の整備は、継続して進めてまいります。これからの高齢化社会においては、これまで以上に介護・看護の充実を図らなければならぬ時です。健康増進施策や検診、疾病予防事業も重要と考え、高齢者支援事業を進めてまいります。

観光事業 観光施策は、今注目されている「地方創成」のうえでも重要なものであり、自然あふれる毛呂山町の観光事業においては、大きく見直すときと考えております。

以上、特筆できる施策をご紹介させていただきますが、これからは、自然環境が残っている地方ほど「田園回帰の時代」であり、「ピンチがチャンスの時」と職員とともに意を強くしているところでございます。

町民の皆さまがオーナー、私はこの町のタウンマネージャー(支配人)として頑張つてまいりますので、引き続き、町づくりに対してのご理解とご協力をお願いいたします。

平成27年が町民皆さまにとって、健康で幸せな年となりますようご祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



「産業まつり」でもろ丸くんのテーマソングとダンスを披露



埼玉県消防操法大会で準優勝した毛呂山消防団第1分団



木質化された川角中学校